

2020年3月2日

トッパンフォームズ、「健康経営優良法人 2020～ホワイト 500～」に認定 健康経営の推進で社員が活躍できる基盤づくりを強化

デジタルハイブリッドのトッパン・フォームズ株式会社（以下トッパンフォームズ）は、従業員などの健康に配慮した経営を実践している企業として、本日、経済産業省と日本健康会議から「健康経営優良法人 2020～ホワイト 500～」の認定を受けました。2017年から4年連続の認定となります。認定には「経営理念・方針」「組織体制」「制度・施策実行」「評価改善」の4つの基準が設けられており、当社は「経営方針・理念」の項目、特に「情報開示・他社への普及」の項目が高く評価されました。



【健康経営優良法人認定制度について（経済産業省 Web サイトより引用）】

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目標としています。

【トッパンフォームズの取り組みについて】

トッパンフォームズは多様な人材が生き生きと働き続けることができる基盤づくりとして、働き方改革、健康保持・増進活動を通じて健康経営を推進し、会社の発展向上を目指しています。

主な施策は次の通りです。

- 1.生活習慣病対策
- 2.メンタルヘルス対策
- 3.禁煙対策
- 4.家族の健康推進

【具体的な活動】

1. 健康経営を全社方針に掲げ、トッパンフォームズグループ全体への浸透を促進
健康経営の推進を経営方針の中に明文化、さらには行動指針ケースブック、社内報、社内規定などで発信。また、ホームページ上では健康経営推進における目標値（KPI）も公開。多様な人材が生き生きと働き続けることができる基盤づくりに努めています。

2. 経営トップが関与し、医療専門職、健康保険組合との連携による施策を推進
健康課題の把握から制度作成・施策実行・効果検証まで経営トップが関与。産業医・看護師などの医療専門職に加え、健康保険組合と連携し実施体制を構築しています。特に生活習慣病対策に力を入れており、健診結果フォローや噛む力チェック＆歯科相談会、肺年齢測定、生活習慣病予防セミナー等を定期的で開催するなど、従業員の意識改革・行動変容につながるよう様々な施策を工夫しながら行っています。
3. 健康施策実施による社内の「働き方改革」推進
長時間労働対策としてノー残業デー設置（月2回）や残業時間管理（月ごと）、役員会で長時間労働者数／部署の報告を定例化するなど、さまざまな取り組みを実施しています。特に管理職の意識向上に注力しており、労働時間マネジメントやストレスチェックワークショップ受講など、従業員などが心身ともに健康な状態で働くことができる環境の整備を推進しています。
4. トップانフォームズの「健康経営」の在り方を積極的に外部発信
当社の健康経営の推進体制や主な施策、実施しているプログラムについて、当社の得意先や外部団体・企業など社外からの講演・面談依頼をいただく機会が増加しています。得意先企業の総務担当者との面談や健康保険組合関係者対象の講演などを通じて、健康への取り組みが促進されるよう、啓発活動を展開しています。



社員対象のセルフケア研修
「笑いとヨガ」の様子



健康経営講演会に当社社員が登壇し、
健康経営実現に向けた取り組みを説明

「健康経営優良法人認定制度」の詳細は、以下（経済産業省 Web サイト）をご覧ください。

URL : https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenkoukeiei_yuryouhouzin.html

以上

※ 「デジタルハイブリッド」は、トップン・フォームズ株式会社の登録商標です。

本ニュースリリースに関するお問い合わせ先
トップン・フォームズ株式会社 総務本部広報部 TEL:03-6253-5730